



千住博作「三春の瀧桜」2013年

千住博 × 酒井邦嘉「芸術と科学の対話」 ～『芸術を創る脳』刊行記念イベント～

[日時] 2014年4月28日(月) 18:20-20:20

[場所] 東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE の地下レクチャー・ホール

入場無料・予約不要 主催：東京大学出版会 共催：駒場友の会

問い合わせ先：東京大学酒井研究室 (03-5454-6261)

昨年12月に刊行された『芸術を創る脳』では、言語脳科学者の酒井邦嘉氏（東京大学教授）が「音楽」「将棋」「マジック」「絵画」それぞれの第一人者との対談を通して、「芸術の力」とそれを生み出す脳機能の秘密に迫っています。

このたび、この本の第IV章「なぜ絵画は美しいのか」で対談相手をつとめられた日本画家の千住博氏（京都造形芸術大学教授）、ならびに編著者の酒井邦嘉氏の二人によるトークイベントを開催します。書籍の内容をさらに展開し、美と創造性の秘密、芸術と科学の関係などについても話が広がる予定です。トーク後には二人のサイン会も開催します。奮ってご参加ください。



千住博（せんじゅ・ひろし）[左]

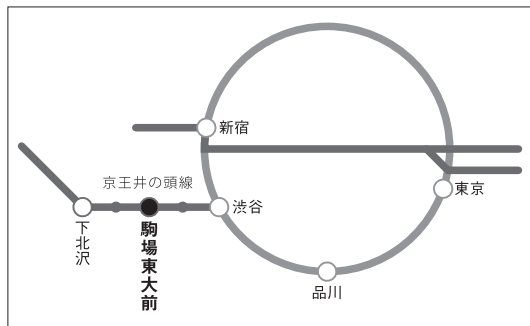
日本画家。京都造形芸術大学教授、元同大学学長。1958年東京生まれ。1987年東京藝術大学大学院後期博士課程修了。1992年よりニューヨークを拠点に制作活動を行ない、1995年第46回ヴェネチア・ビエンナーレにて東洋人として初の名誉賞受賞。著書に『絵を描く喜び』『日本画を描く喜び』（光文社新書）、『芸術とは何か』（祥伝社新書）など多数。

酒井邦嘉（さかい・くによし）[右]

言語脳科学者。東京大学大学院総合文化研究科教授、同理学系研究科物理学専攻教授（兼任）。1964年東京生まれ。1992年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。2002年第56回毎日出版文化賞、2005年第19回塚原伸晃記念賞を受賞。著書に『言語の脳科学』『科学者という仕事』（中公新書）、『脳を創る読書』（実業之日本社）など多数。

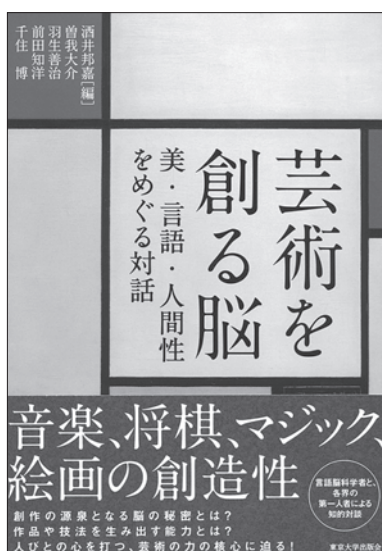
[アクセス]>>

JR山手線等・渋谷駅、小田急線・下北沢駅、京王線・明大前駅より井の頭線に乗り換え、駒場東大前駅で下車。東口改札を出て、正門からお入りください。



[会場への行き方]>>

正門に入り、ロータリーを右折。すぐに駒場博物館前のロータリーを左折し、1号館の脇を直進。銀杏並木を通りぬけ、そのまま8号館の屋根下をくぐった先にある建物が、21KOMCEE（理想の教育棟）です。



芸術を創る脳

美・言語・人間性をめぐる対話

言語脳科学者 酒井邦嘉 編
指揮者・作曲家 曾我大介
将棋棋士 羽生善治
クローズアップ・マジシャン 前田知洋
日本画家 千住博

気鋭の言語脳科学者と音楽、将棋、マジック、絵画の第一人者による知的対談。人間の言語能力を手がかりに、「芸術の力」の核心に迫る！

ISBN978-4-13-003371-8 / 四六判 / 260頁 / 本体2500円+税

重版出来